

予算特別委員会

3月6日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和5年度一般会計予算をはじめ、4つの特別会計等予算が付託され、14日から16日までの3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計予算は賛成多数で、特別会計等予算はすべて全員一致で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市長の提案説明による主要な施策

『危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち』

防災情報伝達システムの活用や自主防災活動を引き続き支援するほか、地域防災計画の改訂、ハザードブックの多言語化など、地域における防災力の向上に努めます。また、空家利活用助成金において、新たに空き家の家財道具処分費用を助成するなど、空き家対策を推進します。さらに、合併処理浄化槽への転換補助における宅内配管工事費補助において、単独槽からの転換に加え、くみ取り槽からの転換にも補助を拡大するほか、太陽光発電システムを利用した蓄電池設備の設置費補助を引き続き実施するなど、「里沼」の良好な環境の保全やたてばやし5つのゼロ宣言に基づく施策を推進します。

『地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち』

子ども医療費無料化を高校生世代の通院医療費まで拡大し、子育て支援を推進するほか、新たに、聴覚障害による身体障害者手帳の交付対象とならない難聴高齢者の補聴器購入費用を補助し、高齢者の在宅生活を支援します。また、生活困窮者等のための地域づくり事業を新たに実施し、地域の企業や個人から募った食品や生活必需品の提供などを行い、自立意欲の向上を支援するとともに、支え合う地域づくりを推進します。さらに、子宮頸がんワクチン接種において、定期接種の年齢を過ぎて、任意接種として自費で接種した場合の費用を助成するなど、予防接種事業の推進に努めます。

『育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち』

こども誕生祝金を引き続き支給するとともに、新生活を始めるための費用を支援する結婚新生活支援補助金において、制度を拡大して実施し、少子化対策に努めます。また、認定こども園化を推進するとともに、妊娠・出産包括支援事業において、出産・子育て応援給付金を支給するほか、産後ケア事業を拡大して実施するなど、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。また、第三中学校普通教室棟防水改修工事、ダノン城沼アリーナ空調設備等の整備、文化会館会館棟のトイレ改修工事などを実施し、公共施設の整備を推進します。さらに、日本遺産推進事業において、引き続き「里沼」を生かした体感型の事業を展開するほか、来訪

者の満足度向上と回遊性強化を図るため、「里沼」来訪者数を調査・検証するなど、シビックプライドの醸成、ブランド力向上及び交流・定住人口の増加を図ります。

『都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち』

企業誘致と市内企業の活性化による雇用機会の創出及び税収の増加を図るため、引き続き産業団地等の整備に取り組むほか、ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、地域の農業者や関係機関との連携・協議を推進します。また、新しい生活様式に対応したデジタル地域通貨（ぼんちゃん Pay）の運用を開始し、市内の経済循環の仕組みを整備し、地域経済の活性化を図るほか、店舗診断を活用して行う店舗改装について、その費用の一部を助成する店舗リニューアル助成制度を導入し、既存事業者の事業継続を支援します。さらに、サイクリングターミナルや南側公園用地を整備し、観光の振興、交流人口の増加などに努めるほか、市内生活路線である（仮称）多々良北線を整備し、地域公共交通計画に基づくまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指すとともに、多々良巡回線におきまして電気バスを導入し、利用者の快適性向上及び環境負荷低減に努めます。

『公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち』

定住促進通学支援金や移住促進まちなか新築住宅取得支援金、市有地活用移住定住支援金を引き続き支給するとともに、わくわく地方生活実現支援金において、18歳未満の帯同した子どもへの加算金額を拡大し、移住定住の促進を図ります。また、ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保に努めるとともに、本市の特産品を返礼することにより地域振興を図ります。また、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した市民提案制度を実施し、公民連携を推進するほか、高齢者などを対象としたスマートフォン講座を実施し、デジタル機器・サービスの活用を支援します。さらに、公式LINE、斎場施設予約システムを導入し、市民福祉の向上に努めるとともに、自治体情報システムの標準化・共通化を進めるなど、庁内のデジタル化を推進し業務の効率化を図ることにより、行政サービスの向上に努めます。

令和5年度 一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額(千円)	構成比(%)	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	11,666,221	39.1	総 務 費	2,546,673	8.5
地方交付税	2,960,000	9.9	民 生 費	10,121,931	34.0
国庫支出金	3,558,947	11.9	衛 生 費	4,042,369	13.6
県支出金	2,065,381	6.9	商 工 費	2,221,598	7.5
繰 入 金	2,447,885	8.2	土 木 費	3,320,693	11.1
諸 収 入	1,681,490	5.6	教 育 費	3,646,768	12.2
市 債	2,173,900	7.3	公 債 費	2,218,460	7.4
そ の 他	3,256,176	11.1	そ の 他	1,691,508	5.7
計	29,810,000	100.0	計	29,810,000	100.0

一般会計予算は過去最大となる
総額298億1000万円

令和5年度 特別会計予算

会 計 別	予算額(千円)	
国民健康保険特別会計	8,172,047	
介護保険特別会計	7,245,127	
後期高齢者医療特別会計	1,146,215	
下水道事業 会 計	収益的支出	1,478,163
	資本的支出	1,384,936